

2020年01月21日

【格付維持】

岩手銀行

発行体格付： A－ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

岩手県で預貸金シェアがトップの地域銀行。岩手県は経済規模がやや小さいうえ、競合他行も一定の貸出金シェアを確保しており、競争環境は比較的厳しい。市場金利に連動しやすい大企業や地方公共団体向けの低利融資の割合が高く、中小企業取引の強化で営業基盤の価値を高めていく必要がある。

2019年度に始まった4年間の中期経営計画では前半2年で本部と営業店のBPR（事務プロセス改革）や店舗再編に取り組み、人員配置の適正化などを通じて経営体質を改善する方針。前中期経営計画の評価・課題を踏まえ、外部環境の変化や計画の進捗に応じて適宜施策を調整し、後半2年で営業戦略の成果を収益に結び付けていく考えだ。取引の収益性が高い顧客への注力や営業店間の連携強化など、他の地域銀行と比べやや手薄だった営業態勢の整備は着実に進展している。複合取引の拡大などで成果が見込めそうだ。

収益力は格付対比で低く、預貸率の低さから顧客部門の収益は低迷が続いている。投資信託解約益調整後のコア業務純益ROAは国債償還などによる市場部門の収益減少でさらに低下する見通しだが、粗利益の改善と人件費を主体とした経費削減で中期的に顧客部門の損益は改善していくとR&Iはみている。マイナス金利環境が長期化する中で業務粗利益を大きく伸ばすのは容易でない。一段の経費圧縮に取り組む重要性は高く、進捗を見守る。

預証率が高く、金利リスクを主体に市場リスクは大きい。運用資産の多様化を徐々に進めているが、有価証券全体に占める投資信託などの割合を一定程度に抑えており、債券を主体とした保守的な市場運用方針を維持している。有価証券残高は現状程度で推移する計画だ。大口集中リスクがやや大きいのが、中小企業融資の増加で小口分散を図っている。Aゾーンにおおむね見合うリスク耐久力を維持できよう。与信業務運営は慎重で、ネットリスク管理債権比率や住宅ローンの延滞率は低位で推移している。資産の質は健全だ。

【格付対象】

発行者：岩手銀行(証券コード：8345)

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A－(維持)	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	越智 彩夏
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2020年01月16日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018.05.31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2017.03.07] 預金取扱金融機関 [2019.02.21]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	岩手銀行
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。